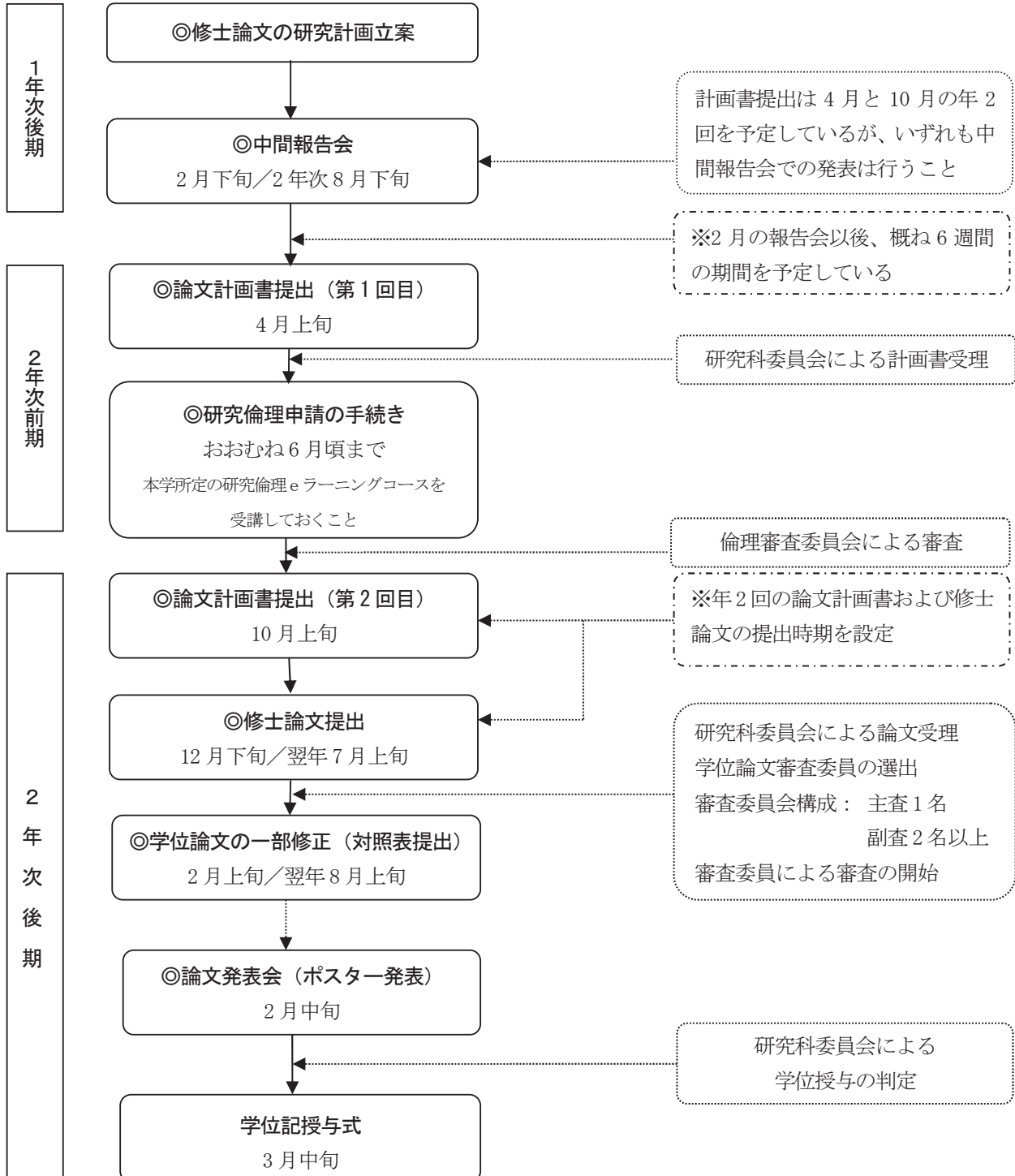


2. 博士前期課程（修士課程）

1. 修士学位取得までのプロセス

◎印：学生が申請・手続きを実施



※各年度における日程の詳細については、教務日程を参照すること

※入学当初、指導教員が研究指導計画を提案し大学院生とともに指導計画を作成するが、論文作成までの期間において随時ディスカッションの中で修正される。

6. 修士学位論文の作成様式

修士学位論文の作成様式については、次のとおり取り扱います。

【学位論文】

- A4版（縦置き、横置き）に記し、A4版のファイル（縦型、左横綴じ）に綴じる。
- ファイルの表紙ならびに背表紙に論文題目（日本語表記）、提出年度、研究科名、専攻名、氏名を記す。
- 学位論文表紙の論文題目は、日本語表記とともに、その英文表記を付す。
- 論文の体裁は、以下を参考に作成する。
 - ・看護学専攻：「APA論文作成マニュアル」に準じる。**4. 学位論文作成マニュアル**を参照。
 - ・臨床福祉学専攻：日本社会福祉学会が発行する学術誌「社会福祉学」に準拠する。
- 表紙・本文の様式は、**9. 【修士学位論文・表紙様式】**及び**10. 【修士学位論文・本文様式】**を基準とする。

【論文要旨】

- 論文要旨の様式については、表紙・本文の様式は、**11. 【修士論文要旨・表紙様式】**および**12. 【修士論文要旨・本文様式】**を基準とし、本文の字数は、横40字×縦40行（1,600字）1枚以内とする。内容は、研究目的、研究方法、倫理的配慮、結果、考察を含む。

7. 修士論文の審査基準・評価方法

1) 審査基準

- (1) 問題意識が明確である。
- (2) 研究目的およびテーマが明確である。
- (3) 先行研究のレビューが適切に行われている。
- (4) 研究目的、テーマに沿って妥当な研究方法が採用されている。
- (5) 研究方法で示されている分析が適切なされ、結果として提示されている。
- (6) 結果に基づき、適切な考察がなされている。
- (7) 論文は、首尾一貫した論理構成になっている。
- (8) 論文の記述が十分かつ適切である。
- (9) 論文が、規定の様式に沿っている。
- (10) 研究内容が、独自の価値を有するものとなっている。

2) 評価・採点方法

- (1) 各項目10点の配点とし、（10点：大変すぐれている～0点：非常に劣っている）、各項目の点数を合算したものを評点とし、60点以上を合格とする。
- (2) 主査（1名）、副査（2名以上）が別々に評点を出し、指導教員に提出する。
- (3) 主査はこの評点を参考に「学位論文審査並びに最終試験結果報告書」を作成する。

2. 履修登録

修士課程で履修する科目の履修登録は、1年ごとに行います。修士課程修了のための全体的な研究計画を指導教員に相談したうえで、履修計画を立ててください。

また、指導教員の指導により、専攻分野の論文作成等に必要科目の履修計画を立て、指定の期日までに、履修登録を行ってください。

提出時期は、下記のとおりです。なお、提出には、指導教員の承認の署名・押印が必要です。

令和7年4月24日（木）17:00 （提出先：看護福祉学課）

・2年次以降の学生（長期履修学生）で、当該年度に履修する科目がある場合も同様に上記の期日までに提出してください。

※履修登録後の変更については、履修登録変更届の提出が必要です。ただし、科目の追加登録については、講義開講日程の関係上、希望が受け入れられない場合もあります。

3. 中間報告会

修士課程1年生を対象として、修士論文の研究テーマに関する「中間報告会」を下記のとおり開催します。次年度4月に修士論文計画書を提出予定の学生は、2月上旬（教務日程参照）までに「中間報告会申込用紙（別途指定、指導教員の承認は必要とするが、署名・捺印は不要）」に記入の上、看護福祉学課に提出してください（E-mailに添付しての提出可）。

[目的] 1. 大学院生の研究テーマの動機や背景を参加者と共有する。
2. 研究テーマにそった研究方法の方向性を検討する。

[開催日] 令和8年2月18日（水）

[場所] 当別キャンパス

[参加者] 修士課程1年生および本学看護福祉学研究科教員、その他大学院生

[内容] 研究テーマ（動機、背景、研究方法など含む）の報告と意見交換を行う。

- ・学生1名につき、発表10分、質疑10分、計20分程度の持ち時間とする（令和6年度実績）。
- ・パワーポイントの使用は可能である。
- ・報告する学生は資料（A4判で1～2枚程度）を準備し、当日配布する（資料は、発表後回収）。
- ・希望者が9名以上になった場合は午前・午後に分けて実施する。

※実施の詳細については、別途お知らせします。

4. 論文計画書の提出（修士2年生以上）

修士学位の取得の過程で、修士の学位を取得するための修士論文を作成するにあたっては、まず、指定された期日までに、論文計画書を提出してください。様式については、【修士論文計画書様式】（学生総合情報システムi-portalからダウンロード可）に従ってください。

提出時期は、下記のとおりです。なお、提出には、指導教員の承認の署名・押印が必要です。

・2年次 第1回目 令和7年4月4日（金）17:00（提出先：看護福祉学課）

・2年次 第2回目 令和7年10月1日（水）17:00（提出先：看護福祉学課）

※上記内容は、修士2年生以上に適用。修士1年生については、次年度の予定として参照のこと。これ以降の記述も同様です。

5. 修士学位申請手続き（修士2年以上）

1) 学位申請について

中間報告会を経て修士論文計画書を提出し、受理された者に、学位申請の資格が付与されます。

2) 提出書類および作成について

学位を申請するには、下記の書類の提出が必要です。「学位論文審査願」および「履歴書」については新たにPCで作成しても差し支えありませんが、規定の項目を変えないでください。

提出にあたっては、「学位論文審査願」の「指導教員承認欄」に、指導教員の署名・押印を必ず受けてください。上記の署名・押印がないものは、受理できません。この場合、学位申請は認められませんので、注意してください。

◇提出する書類について

(①と④の様式は、大学ホームページの「学生総合情報システム i-Portal」からダウンロードすることができます。)

①学位論文審査願	1部
②学位論文	4部以上
③学位論文要旨	25部
④履歴書	1部

3) 学位論文の提出部数について

学位論文の提出部数は、正本（原本）1部、審査用として審査委員（主査・副査）に配付するもの4部以上（副査の人数が2名を超える場合に、超えた人数に応じて増部となります）、合計4部以上です。

なお、副査が2名を超えて、提出部数が4部を超える場合については、審査委員が内定した時点で、該当者に連絡します。

4) 提出期限および提出先

令和7年度の提出期限：令和7年12月18日（木）17:00まで（時間厳守）

提出場所：看護福祉学課

5) 学位論文の一部修正について

学位論文の提出後、審査委員（主査・副査）より個別指導を受けてください。審査委員の指導にもとづき、提出後の学位論文を一部修正する場合の取り扱いは、下記のとおりです。

なお、この一部修正は、あくまで、審査委員の指導にもとづいて行うものであり、論文提出者が任意に論文の修正・差し替えを行えるというものではありませんので、誤解のないようにしてください。

① 修正前・後の対照表（正誤表形式）を作成し、下記により提出する。様式については、「学生総合情報システム i-Portal」に掲載されている見本を参照してください。

- ・提出期限：令和8年2月2日（月）17:00 まで
- ・提出場所：看護福祉学課
- ・提出部数：学位論文の提出部数と同数（4部以上）

②修正後の論文（修正版：修正後の論文の本文・資料等を含む論文一式、表紙ファイルは不要）を下記により提出する。

- ・提出期間：「修士論文発表会」終了後、学位記授与式当日までの期間
- ・提出場所：看護福祉学課
- ・提出部数：1部

※当初提出された論文の正本（原本）をファイル以外、一括して修正後の論文（修正版）に差し替えます。

※審査の段階で題名変更があった場合は、ファイルもつけて提出してください。

③そのほか、修正の詳細については、審査委員の指導による。

6) 面接審査

学位論文が受理された者は、審査委員会（主査・副査）による審査を受けることとなります。審査委員会の報告書をもとに、研究科委員会にて学位認定の可否が審議されます。

面接審査の日程・場所等については、審査委員より、別途指示されます。

7) 修士論文発表会

学位申請者を発表者として、論文発表会を開催します。

- ・日時：令和8年2月12日（木）10:00～15:00
- ・場所：当別キャンパス内の講義室または演習室
- ・発表：ポスター発表形式

なお、詳細な実施要領については、学位論文が受理された者に別途通知します。

8) 学位論文審査結果

学位の授与が認められた方は、個別に結果を通知します。

6. 修士学位論文の作成様式

修士学位論文の作成様式については、次のとおり取り扱います。

【学位論文】

- A4版（縦置き、横置き）に記し、A4版のファイル（縦型、左横綴じ）に綴じる。
- ファイルの表紙ならびに背表紙に論文題目（日本語表記）、提出年度、研究科名、専攻名、氏名を記す。
- 学位論文表紙の論文題目は、日本語表記とともに、その英文表記を付す。
- 論文の体裁は、以下を参考に作成する。
 - ・看護学専攻：「APA論文作成マニュアル」に準じる。**4. 学位論文作成マニュアル**を参照。
 - ・臨床福祉学専攻：日本社会福祉学会が発行する学術誌「社会福祉学」に準拠する。
- 表紙・本文の様式は、**9. 【修士学位論文・表紙様式】**及び**10. 【修士学位論文・本文様式】**を基準とする。

【論文要旨】

- 論文要旨の様式については、表紙・本文の様式は、**11. 【修士論文要旨・表紙様式】**および**12. 【修士論文要旨・本文様式】**を基準とし、本文の字数は、横40字×縦40行（1,600字）1枚以内とする。内容は、研究目的、研究方法、倫理的配慮、結果、考察を含む。

7. 修士論文の審査基準・評価方法

1) 審査基準

- (1) 問題意識が明確である。
- (2) 研究目的およびテーマが明確である。
- (3) 先行研究のレビューが適切に行われている。
- (4) 研究目的、テーマに沿って妥当な研究方法が採用されている。
- (5) 研究方法で示されている分析が適切なされ、結果として提示されている。
- (6) 結果に基づき、適切な考察がなされている。
- (7) 論文は、首尾一貫した論理構成になっている。
- (8) 論文の記述が十分かつ適切である。
- (9) 論文が、規定の様式に沿っている。
- (10) 研究内容が、独自の価値を有するものとなっている。

2) 評価・採点方法

- (1) 各項目10点の配点とし、（10点：大変すぐれている～0点：非常に劣っている）、各項目の点数を合算したものを評点とし、60点以上を合格とする。
- (2) 主査（1名）、副査（2名以上）が別々に評点を出し、指導教員に提出する。
- (3) 主査はこの評点を参考に「学位論文審査並びに最終試験結果報告書」を作成する。

8. 修士論文計画書様式

看護福祉学研究科 修士論文計画書

(横 40 字×縦 40 行)

年 月 日提出

学生氏名		学生番号	
所 属	専攻 (分野:)	課題研究 の種別	1. 看護学課題研究 6単位 2. 臨床看護学課題研究 2単位 <small>(高度実践コースの一部学生のみ対象)</small> 3. 臨床福祉学課題研究 6単位 4. 臨床福祉学実践課題研究 2単位 <small>(高度実践コースの一部学生のみ対象)</small>
指導教員	㊟		
研究課題			
※計画書の本文は、明朝体、文字サイズ11ポイント。			
研究目的 [当該研究計画の目的について簡潔に記述する]			
研究の背景および意義			

(通しのページ番号を入れること)

文献検討 [本研究に関連する国内・国外の研究動向および本研究の位置づけ] ※2 ページ程度

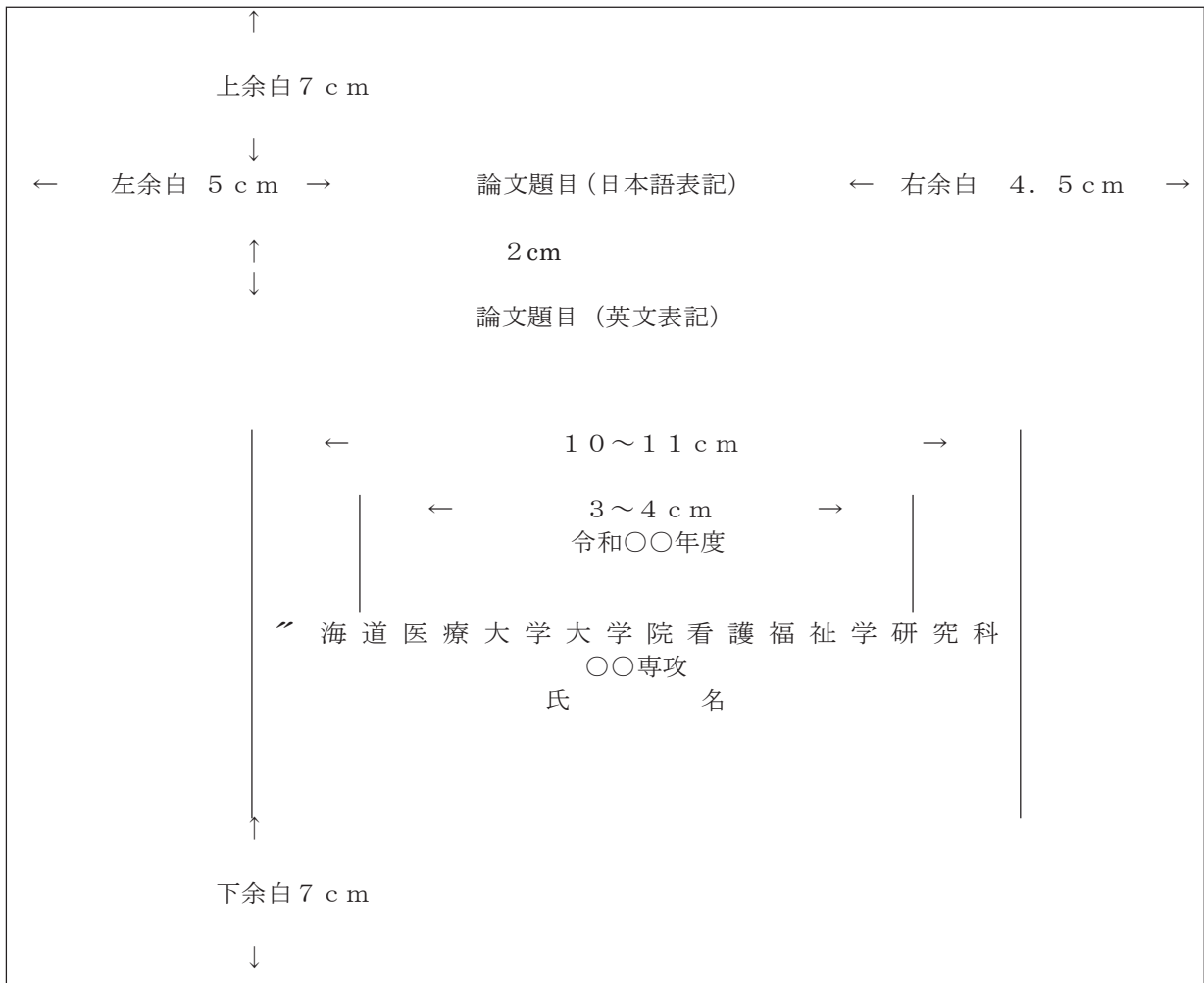
研究方法 [研究デザイン、研究対象、データ収集方法、分析方法、倫理的配慮を含む]

文献リスト

注：学位論文作成マニュアルの表記に従うこと。

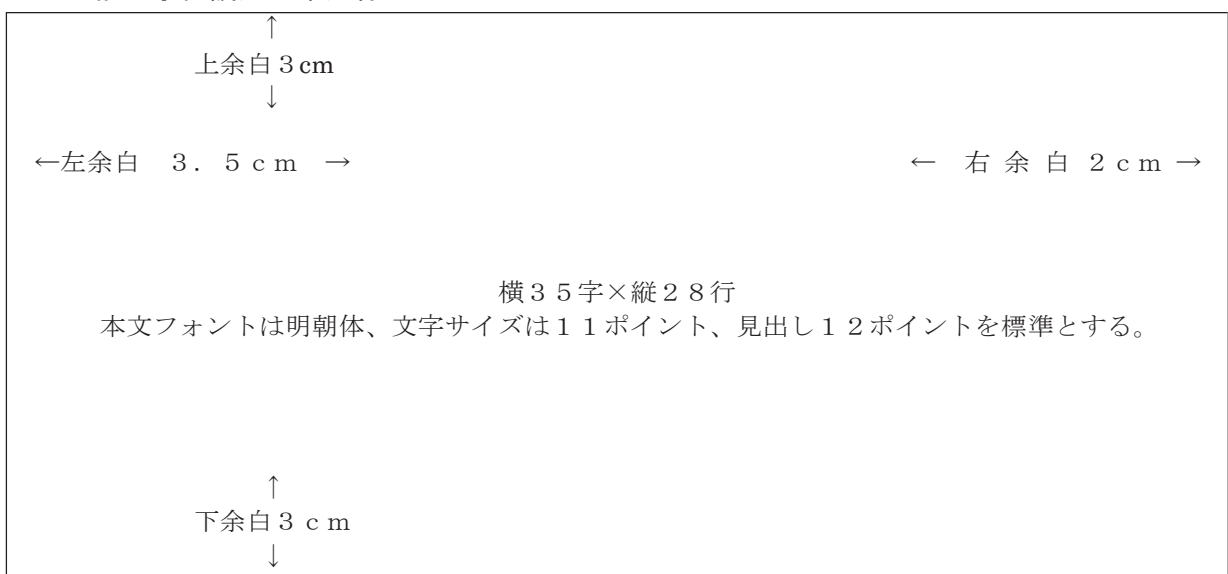
(通しのページ番号を入れること)

9. 修士学位論文・表紙様式



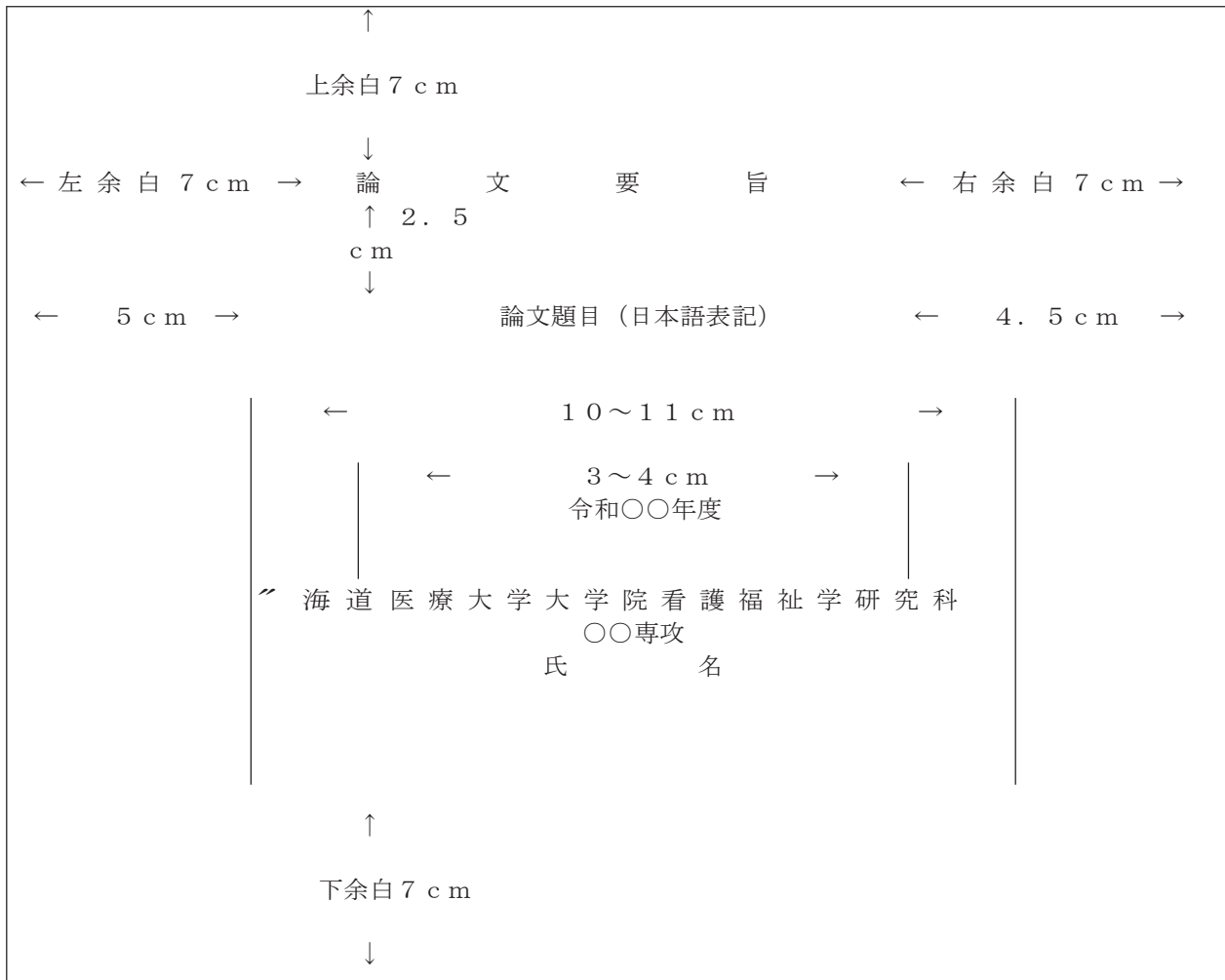
<備考>用紙はA 4判の普通紙を使用のこと。

10. 修士学位論文・本文様式



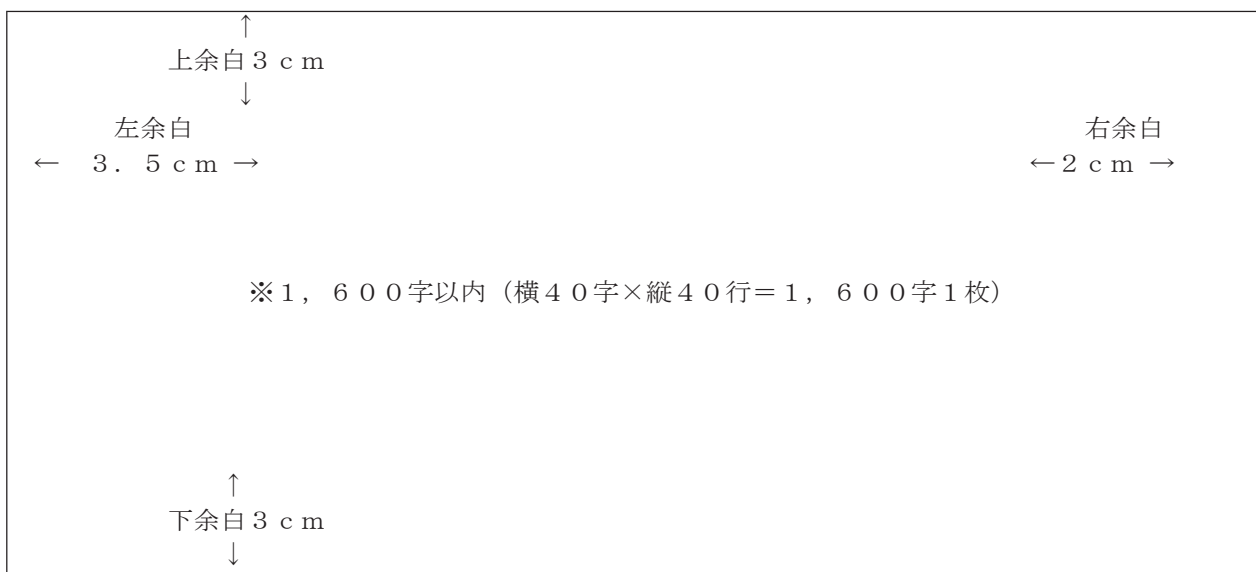
<備考>用紙はA 4判の普通紙を使用のこと。

1 1. 修士論文要旨・表紙様式



<備考>用紙はA 4判の普通紙を使用のこと。

1 2. 修士論文要旨・本文様式



<備考>用紙はA 4判の普通紙を使用のこと。